

1 n を自然数とする。このとき、次の問いに答えなさい。

(1) 方程式 $z^n = 1$ の解をすべて求め、極形式で表しなさい。ただし、解 z の偏角 θ は $0 \leq \theta < 2\pi$ とする。

(2) (1) で得られた解を偏角が小さい順に $c_0, c_1, c_2, \dots, c_{n-1}$ とおく。このとき、すべての $k = 0, 1, 2, \dots, n-1$ に対して、

$$|c_{k+1} - c_k| = \sqrt{2\left(1 - \cos \frac{2\pi}{n}\right)}$$

が成り立つことを示しなさい。ただし、 $c_n = c_0$ とする。

(3) (2) の c_k に対して $S_n = \sum_{k=0}^{n-1} |c_{k+1} - c_k|$ とするとき、 $\lim_{n \rightarrow \infty} S_n$ を求めなさい。

(山口大学 2018)

2 実数 t に対して、 xy 平面上で曲線

$$C: y = -x^3 + 3t^2x - 2t^3 \quad (0 \leq x \leq 1)$$

を考える。 t が $0 \leq t \leq 1$ の範囲を動くとき、曲線 C が通過する領域を図示し、その面積 S を求めなさい。

(山口大学 2018)

3 n を自然数とする。このとき、次の問いに答えなさい。

(1) 連続な関数 $f(x)$ が区間 $[0, 1]$ で増加するとき、

$$\frac{1}{n} \sum_{k=1}^n f\left(\frac{k-1}{n}\right) \leq \int_0^1 f(x) dx \leq \frac{1}{n} \sum_{k=1}^n f\left(\frac{k}{n}\right)$$

が成り立つことを示しなさい。

(2) a が正の有理数のとき、

$$n^{a+1} \leq (a+1) \sum_{k=1}^n k^a \leq (n+1)^{a+1}$$

が成り立つことを示しなさい。ただし、 x^a が連続な関数であることを証明なしに用いてもよい。

(山口大学 2018)

4 空間内の3点 $A(1, 3, -2)$, $B(3, 2, -1)$, $C(2, 1, 3)$ について、次の問いに答えなさい。

(1) $\angle BAC = \theta$ とするとき、 $\cos \theta$ の値を求めなさい。

(2) $\triangle ABC$ の面積 S を求めなさい。

(3) $\triangle ABC$ を含む平面に垂直なベクトルを $(x, y, 1)$ と表すとき、 x, y の値をそれぞれ求めなさい。

(4) 原点を O とするとき、四面体 $OABC$ の体積 V を求めなさい。

(山口大学 2018)

5 座標平面において、連立不等式

$$x \geq 0, \quad y \geq 0, \quad y \leq -x + 8, \quad y \leq -2x + 12$$

の表す領域を D とし、 a を正の定数とする。点 (x, y) が領域 D 内を動くとき、 $ax + y$ の最大値を M とする。このとき、次の問いに答えなさい。

- (1) 2 直線 $y = -x + 8$ と $y = -2x + 12$ の交点を求め、領域 D を図示しなさい。
- (2) $0 < a < 1$ のとき、 M の値を求めなさい。
- (3) $1 \leq a$ のとき、 a を用いて M を表しなさい。

(山口大学 2018)

6 箱の中に 1 から 9 までの番号が 1 つずつ書かれた 9 枚のカードが入っている。このとき、次の問いに答えなさい。

- (1) 箱からカードを同時に 2 枚取り出すとする。取り出した 2 枚に書かれた番号が続きになっている確率を求めなさい。ただし、2 枚に書かれた番号が続きになっているというのは、4 と 5 のように、一方の番号が他方の番号より 1 だけ大きいかあるいは 1 だけ小さい場合である。
- (2) 箱からカードを同時に 3 枚取り出すとする。取り出したカードのうち少なくとも 2 枚に書かれた番号が続きになっている確率を求めなさい。
- (3) 箱からカードを同時に 4 枚取り出すとする。取り出したカードのうち少なくとも 2 枚に書かれた番号が続きになっている確率を求めなさい。

(山口大学 2018)

7 a を正の定数とし、 $f(x) = x^2(x - 3a)$ とおく。座標平面上の曲線 $y = f(x)$ を C とし、曲線 C 上の点 $P(-a, f(-a))$ における接線を ℓ とする。接線 ℓ が点 P 以外で曲線 C と交わる点を Q とする。このとき、次の問いに答えなさい。

- (1) 点 Q の座標を a を用いて表しなさい。
- (2) 線分 PQ と曲線 C で囲まれる図形の面積 S を a を用いて表しなさい。
- (3) 曲線 C 上の点 $R(a, f(a))$ を考える。線分 PQ 、線分 RQ および曲線 C で囲まれる図形の面積を T_1 とする。また、線分 RQ と曲線 C で囲まれる図形の面積を T_2 とする。このとき、 $\frac{T_1}{T_2}$ を求めなさい。

(山口大学 2018)

8 空間内の 3 点 $A(1, 3, -2)$ 、 $B(3, 2, -1)$ 、 $C(2, 1, 3)$ について、次の問いに答えなさい。

- (1) $\angle BAC = \theta$ とするとき、 $\cos \theta$ の値を求めなさい。
- (2) $\triangle ABC$ の面積 S を求めなさい。
- (3) $\triangle ABC$ を含む平面に垂直なベクトルを $(x, y, 1)$ と表すとき、 x, y の値をそれぞれ求めなさい。
- (4) 原点を O とするとき、四面体 $OABC$ の体積 V を求めなさい。

(山口大学 2018)

9 座標平面において、連立不等式

$$x \geq 0, \quad y \geq 0, \quad y \leq -x + 8, \quad y \leq -2x + 12$$

の表す領域を D とし、 a を正の定数とする。点 (x, y) が領域 D 内を動くとき、 $ax + y$ の最大値を M とする。このとき、次の問いに答えなさい。

- (1) 2 直線 $y = -x + 8$ と $y = -2x + 12$ の交点を求め、領域 D を図示しなさい。
- (2) $0 < a < 1$ のとき、 M の値を求めなさい。
- (3) $1 \leq a$ のとき、 a を用いて M を表しなさい。

(山口大学 2018)

10 次の条件によって定められる数列 $\{a_n\}$ がある。

$$a_1 = 1, \quad a_{n+1} = a_n^2 - a_n + \frac{3}{4} \quad (n = 1, 2, 3, \dots)$$

このとき、次の問いに答えなさい。

- (1) $b_n = a_n - \frac{1}{2}$ とおくとき、初項 b_1 の値を求め、さらに b_n を用いて b_{n+1} を表しなさい。
- (2) (1) で定められた数列 $\{b_n\}$ の一般項を求めることにより、 $\lim_{n \rightarrow \infty} a_n$ を求めなさい。

(山口大学 2018)

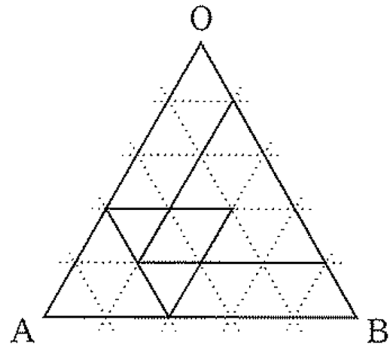
11 次の問いに答えなさい。

- (1) $0 \leq x \leq \pi$ のとき、方程式 $3 \cos x - 2 \sin^2 x = 0$ を満たす x の値を求めなさい。
- (2) $f(x) = e^{\frac{2}{3} \cos x} \sin x$ ($0 \leq x \leq \pi$) とするとき、 $f(x)$ の最大値を求めなさい。
- (3) (2) の $f(x)$ に対して、曲線 $y = f(x)$ と x 軸で囲まれる図形の面積 S を求めなさい。

(山口大学 2018)

12 n を自然数とする．正三角形 OAB の各辺を n 等分してできる点を通り，辺 OA ， OB ， AB に平行な直線をすべて引く．これらの直線と辺 OA ， OB ， AB 中の 3 本によって作られる正三角形のうち，正三角形 OAB からはみ出ないものを考える．そのような正三角形の個数を t_n とする．ただし， $n = 1$ のときは正三角形 OAB のみを考えて， $t_1 = 1$ とする．このとき，次の問いに答えなさい．

- (1) $t_2 = 5$ である． t_3 の値を求めなさい．
- (2) 1 辺が辺 AB 上にある正三角形の個数を n を用いて表しなさい．
- (3) 辺 AB と 1 点のみを共有する正三角形の個数を， n が偶数と奇数の場合に分け， n を用いて表しなさい．
- (4) $u_n = t_{2n-1}$ とおくととき， $u_{n+1} - u_n$ を n を用いて表しなさい．
- (5) n が奇数のとき， n を用いて t_n を表しなさい．



図： $n = 5$ の場合

(山口大学 2018)